

シリーズ 国保税が高すぎる

コロナ禍の下、 払える国保税に!!



8月6日党県議団主催の「国保対策交流会」が開かれました。

現在、県国民健康保険運営協議会で、「令和9年度から保険税水準の統一」「そのためにも市町村は令和8年度までに赤字を解消する段階的な目標を設定する」という国保運営方針の見直しが議論されています。

国保の構造的な問題（被保険者の構成として低所得の方が多い、公費の投入が十分ではなく脆弱な財政基盤、市町村の規模により格差が生じる）が解決されていません。とりわけ、全国知事会が要望してきた1兆円の公費投入は3400億円にとどまっている中で法定外繰り入れ（市町村などが一般会計から国保財政へ繰り入れてきた法律に基づかない支援）をなくせば、国保税が引きあがらざるを得ません。

拙速な保険税水準統一とそのため法定外繰り入れ解消計画は撤回すべきです。

埼玉商連 要望 業者を支える立場で 国保税の減免を



8月28日、埼玉県商工団体連合会は、大野元裕知事に「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者への国民健康保険税減免についての要請書」を提出し懇談しました。党県議団から、村岡まさつぐ県議、前原かづえ県議とともに私も同席しました。

コロナ蔓延の中で国保税の減免は営業危機にある事業者らが、事業を継続し暮らしを続けることができるようにするものです。市町村が柔軟に運用に踏み出せるよう、県としての支援を求めました。

野党共闘をさらに進め 自己責任を押し付ける 菅政権の交代を



梅村さえこ前衆議院議員と

「おなかですいた」「お昼ご飯が食べられるかわからない」

セーブ・ザ・チルドレンが行ったアンケートに「おなかですいた」「お昼ご飯が食べられるかわからない」という子どもの声が寄せられ、その後、ひとり親家庭応援ボックスを送ると同時に行ったアンケートでは「新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになった」という実態を9月定例会の一般質問で紹介しながら

「誰一人取り残さないために、ひとり親家庭への支援を」と求めました。

しかし誕生した菅政権が掲げたのが、「自助・共助」です。コロナ禍の中で歯を食いしばって努力している国民に対し自己責任を押しつける政治を転換させなければなりません。

市民と野党の共闘の発展で政権交代を実現させましょう。



伊藤岳参院議員と石川春日部市長訪問



春日部市の段ボール工場視察



埼玉県学校給食会視察

秋山文和の県政ニュースレター

9月定例会特集号



発行
2020年秋号

日本共産党
埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策 補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の 設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後、医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の 災害避難計画策定を急げ

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。



埼玉県中央防災基地の視察

医療・福祉施設の 社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を 自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による
汚染水を海に流さないよう
国に求める請願

● 賛成 × 反対

自民	公明	県民 会議	民主 フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

ひとり親家庭の 子どもたちに 支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのこと。

一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる 阿須山中の 自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コクランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れてきました。

やっぱり！

少人数学級がいいね！

ママ、パパ、現役の小学校の先生がつどい、「コロナと学校と子ども」をテーマに休校中のこと、学校再開後のことを語りあいました。ZOOMでの参加もあり、オンライン授業の今後についての思いも交流。「分散登校で少人数学級を先生みんなが経験し、子どもたち一人ひとりと話せることがよくわかった」と先生。こどもたちの思いによりそうすることができる教育環境にするためにも少人数学級を実現したいです。



秋山もえの 県政ニュースレター

9月定例会特集号

人も自然も浪費しない社会へ

コロナの経験はこれまでの日々の暮らし働き方、政治のありよう…
すべてを見直す機会となりました。

私たちはどんな社会ならば
安心して暮らせるでしょうか。
病気になっても障害があっても
十分なケアが受けられる。
お金の心配がなく進学できる。
働きすぎて身体を壊すことがない。
性的指向や性自認による差別がない。

人も自然も浪費しない
持続可能な社会へ。地球へ。

まさに、今こそ「公助」の出番！
税金を何に使うのか。
それを決めるのは政治です。
野党による政権交代で
「公助」豊かな社会を実現するため
ともに力をあわせましょう！！



被災者の生活再建とともに 堤防整備を急げ



昨年10月の台風19号の被害を大きく受けた上尾平方の上宿地区。堤防整備に向けた住民説明会が開かれました。被災した方たち一人ひとりの生活再建を何よりも重視し、堤防整備がすすむよう力をつくします。

力をあわせてがんばります

秋山もえ プロフィール

上尾市議3期。現在県議1期目(上尾市・伊奈町選出)。福祉保健医療委員・県国保運営協議会委員。1976年千葉県木更津市に生まれる。新聞奨学生として働きながら大東文化大学(ウルドゥー語専攻)を卒業。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。趣味はカフェめぐり、バスケ、ネイル。西上尾第二団地在住。



伊奈町議団



上尾市議団



コロナ特別委員会 言いたいことがあふれ出て

7月から新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の閉会中審査に委員として参加しました。PCR検査を世田谷区のように広げること、コロナ専用医療機関設置、看護師や医療労働者のみなさんに慰労金支給を急ぐことなどを求め、たくさんの質疑を行いました。9月定例会の特別委員会で合意した提言には「少人数学級を進めること」「保健所の職員を増やすこと」などもりこむことができました。

要求実現に 全力



上尾市内に屋内50mプール等の整備を



江川の内水氾濫対策を

リハセン交差点周辺の
県道の舗装修繕を▶



秋山もえ

2020年
秋号

日本共産党
埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

YouTube "JCPもえチャンネル" 更新中



月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策 補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の 設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の 災害避難計画策定を急げ



埼玉県中央防災基地の視察

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。

医療・福祉施設の 社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を 自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による
汚染水を海に流さないよう
国に求める請願

● 賛成 × 反対					
自民	公明	県民 会議	民主 フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

ひとり親家庭の 子どもたちに 支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのことです。

一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる 阿須山中の 自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コケランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れてきました。



憲法 9 条壊すな!

10月19日ふじみ野駅西口で、9条壊すな!ふじみ野地域実行委員会の宣伝。雨の中、市内在住の方たちが次々とマイクを握り、安倍政治を継承する菅政権はますます危険と訴え。私は、「今を戦前にしないために、選挙に行って政治を変えよう」と訴えました。

ふじみ野市役所西側のヨーカドー跡地で、長谷工による15階建てマンション建設が進められています。床井議員と地域を訪問し実態を聞く中で、日照権、電波障害、風害など、様々な問題がある計画は見直すべきと思いました。



床井市議とマンション建設付近の地域を訪問



10月16日毎週金曜日浦和駅東口で、昼休みに行われている「戦争させない・埼玉の会」宣伝。

文化芸術を守り育てる政治へ

コロナ危機で演劇や音楽などを直接鑑賞する機会が激減しているもとので、文化・芸術がいかにかげがえのないものを痛感させられました。文化・芸術は人間が生きる上でなくてはならないものです。しっかり予算をかけ文化芸術を守り育てる政治に変えていくときです。



三芳町藤久保公民館で行われた「原爆と人間」展

公共施設を使うにも様々な制限がある中で、原水爆禁止三芳町協議会・三芳9条の会が共催。広島の高校生が、被爆者の体験を聞いて作成した絵の写真は、75年前の暑い夏の惨状をしっかりと訴えています。核兵器と人間は共存できません。

10月18日川越で行われた川越子ども応援パントリーのイベントに参加。コンサートが行われていました。



10月15日所沢市役所ロビーで行われた「こころの美術展」。心の病の方の作品が展示され居場所づくりの取り組みが紹介されていて、大事な取り組みだと感じました。

オール野党で連合政権つくろう! 性差別する政治変えよう

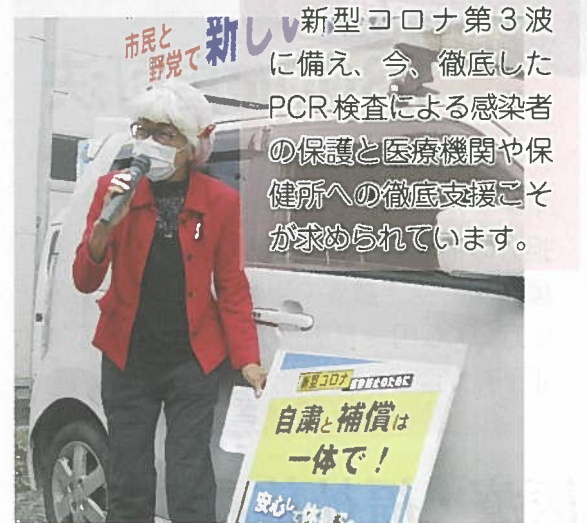


10月11日フラワーデモ

あなたは一人じゃない

「(同性カップルは)子どもをつくらない。『生産性』がない」自民党の体質ともいえる性的少数者に対する差別発言に続き、「女性はいくらでもうそをつけますから」と杉田水脈衆院議員が性暴力被害者支援をめぐる議論の中で発言。13万人を超える抗議署名が集まっています。

毎月、11日に18時から、性暴力根絶を求めるフラワーデモが取り組まれています。10月は、杉田議員の発言に対する抗議の声が、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、東京などの都県で行われました。「あなたは一人じゃない」「声を上げよう」と、声を上げ、性差別をする政治を変えましょう。



新型コロナウイルス第3波に備え、今、徹底したPCR検査による感染者の保護と医療機関や保健所への徹底支援こそが求められています。



前原かづえの 県政ニュースレター

9月定例会特集号

発行
2020年秋号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁内 TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策 補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の 設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後、医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の 災害避難計画策定を急げ



埼玉県中央防災基地の視察

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。

医療・福祉施設の

社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を 自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による汚染水を海に流さないよう国に求める請願

●賛成 ×反対

自民	公明	県民 会議	民主 フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

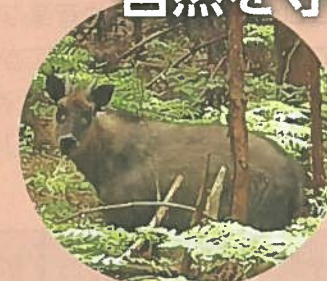
ひとり親家庭の 子どもたちに 支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのこと。

一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる 阿須山中の 自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コケランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。党県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れてきました。

医師・看護師不足解消を！



県議団は新都心にある埼玉県総合医局機構を視察、医師確保事業について説明を受けました。

医師育成奨学金により、2030年には405人の医師が生まれます。地域枠医学生奨学金では、国による総定員枠のため、本県として枠を増やせない課題も見えました。同じフロアに地域医療教育センターがあり、看護を学ぶ学生のシミュレーターによる研修も見学できました。分娩介助研修には正直驚き、赤ちゃんの脈まで体験には感動、ちょっぴり孫を抱っこした気分になりました。



セーブ・ザ・チルドレンと懇談

9月5日「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の皆さんが来られ、懇談。セーブ・ザ・チルドレンは子どもの権利が実現された世界をめざし、世界120カ国で活動するNGOです。「チルドレン」はコロナ禍緊急支援としておこなっている食料品や遊具を提供する「ひとり親家庭応援ボックス緊急追加支援」で話題となりました。

川口からの県要望

川口市長が県営住宅の増設などを知事に要望

9月1日、川口市長が知事に県営住宅の供給の促進と1953年建設の飯塚町住宅の規模拡大を要望しました。川口市は県営住宅の住戸数がさいたま市の1割未満となっています。知事は「様々な手法が考えられるが検討する」と回答。

川口市選出の7名の県議が同席しました。



知事のふれあい訪問に同行

川口の板金工場、福祉作業所などを視察しました



訪問したのは領家の(株)フジムラ製作所。全ての工程をデジタル化、残業なく定時に帰れるように取り組んでいました。次に訪れた(株)大泉工場は「食」をキーワードに多彩な事業を展開しています。3カ所目は鳩ヶ谷にある社福法人鳩ヶ谷ほっとすてーしょん、障害者のための多機能型事業所。「古紙回収が一番楽しい」など、お話しして頂きました。

村岡まさつぐ プロフィール

党県議団幹事長、警察危機管理防災委員会、地方創生・行財政改革特別委員会一級建築士、埼玉県応急危険度判定士、東洋大学工学部卒、川口市議を経て、2011年より埼玉県議会議員3期目

村岡まさつぐ県政事務所
m-mura@sky.plala.or.jp
村岡県議
muraoka0112@gmail.com



野党共闘をさらに進め 菅政権交代を



本気のコロナ対策を、 医師不足の解消・少人数学級を

川口市内各地で、伊藤岳参院議員、おくだ智子前県議とともに「国は本気でコロナ対策を」と訴えました。

私もセーブ・ザ・チルドレンの方と懇談しましたが、ひとり親家庭の5割で収入が半減したとのこと。しかし菅政権は「まずは自助」と自己責任を押しつけています。その一方で来年度の軍事費は過去最大の5.5兆円。学術会議の任命拒否は菅政権の危険な体質をあらわにしました。本気共闘で野党連合政権を目指し新しい政治へと変えましょう。

村岡まさつぐの県政ニュースレター

9月定例会特集号

発行
2020年秋号

日本共産党
埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策
補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後、医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の災害避難計画策定を急げ

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。



埼玉中央防災基地の視察

医療・福祉施設の社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による汚染水を海に流さないよう国に求める請願

●賛成 ×反対

自民	公明	県民会議	民主フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

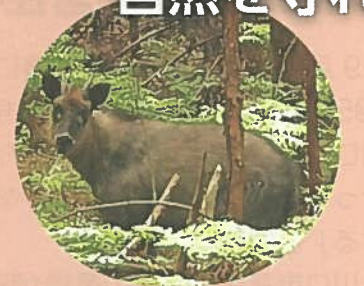
ひとり親家庭の子どもたちに支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのことです。

一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる阿須山中の自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コクランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。党県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れました。

活動報告

- 7/22 国会に予算要望へ
- 7/29 秩父田村地域の土砂崩落の現場視察（1面）
- 8/4 ネクスコ東日本へ水害避難場所に対する協力要請
- 8/5 大野知事へPCR検査拡充要請の申し入れ
- 8/6 県議団主催の国保問題学習会
- 8/9 川越「時の鐘」長崎の原爆投下時間に鳴り響き黙祷
- 8/17 県議団主催の災害学習会
- 8/24 育鷗社教科書採択問題申し入れ
- 8/25 坂戸森戸町の（有価物）山積問題で視察
- 8/25 新型コロナウイルス対策申し入れ
- 9/8 県総合医局（新都心）へ県議団で視察
- 9/11 埼玉医大病院へ県議団で視察
- 9/14 県中央衛生研究所へ塩川鉄也衆院議員と県議団で視察
- 9/16 高階水害をなくす会が県に申し入れ
- 9/24～10/14まで9月定例会
- 9/27 市政・県政報告会
- 10/16 大野知事へ新川越生線建設促進に関する申し入れ
- 10/16 大野知事へ県議団で予算要望書提出（3面）
- 10/19 党川越市議団と共に戦争法撤回宣伝



伊藤岳参議院議員、渋谷幸司川島町議とネクスコ東日本に、圏央道川島ICを避難場所にと申し入れ



伊奈学園中学の育鷗社教科書採択は現場の声を無視するものです



川越市に新型コロナウイルス感染症対策を川越市議団とともに緊急申し入れ



川越水害問題で懇談・要望



橋本雅道副知事に川越選出の県議全員で川越越生線の建設促進要望書を手渡し



党川越市議団とJR川越駅頭で戦争法撤回を訴えました

#MeToo あなたはひとりじゃない



性暴力被害をなくすためのスタンディングに参加しました。党川越市議たちと参加しました。

違法堆積の土砂崩落 党県議団調査 住民が復旧要求



日本共産党県議団は秩父田村で違法に堆積された土砂が崩落した問題で現地視察をしました。「土砂の一部は田畑にも流れ込んだ」「危険なものが川の水に混ざらないか不安だ」と切実な訴えがありました。環境部長に県議団と秩父市議団で復旧工事の要望書を提出しました。9月18日、業者に代わって県が除去作業を開始しました。

9月定例会をふりかえって

産業労働委員として、委員会審議に参加しました。

新型コロナウイルスによって、事業者は減収に苦しんでいます。国と県は、コロナで収入減となった事業者への家賃支援給付金制度を始めました。私は、委員会で家賃支援の給付状況を質問したところ、県の給付目標は7万5000件であるのに対して、給付したのは2140件にすぎないことが分かりました。国と県に給付を急ぐよう求めました。また、コロナの影響で全国で6万3000人の失業者が出ています。私は、県が失業の状況を把握しているのか、またその対策を質問しました。県としては現在689人の失業者を把握しており、企業とのマッチング支援に努めるとの答弁でした。

守屋ひろ子の県政ニュースレター

9月定例会特集号



発行
2020年秋号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策
補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための
埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の 設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後、医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の 災害避難計画策定を急げ

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。



埼玉県中央防災基地の視察

医療・福祉施設の 社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を 自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による
汚染水を海に流さないよう
国に求める請願

●賛成 ×反対

自民	公明	県民 会議	民主 フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

ひとり親家庭の 子どもたちに 支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのことです。

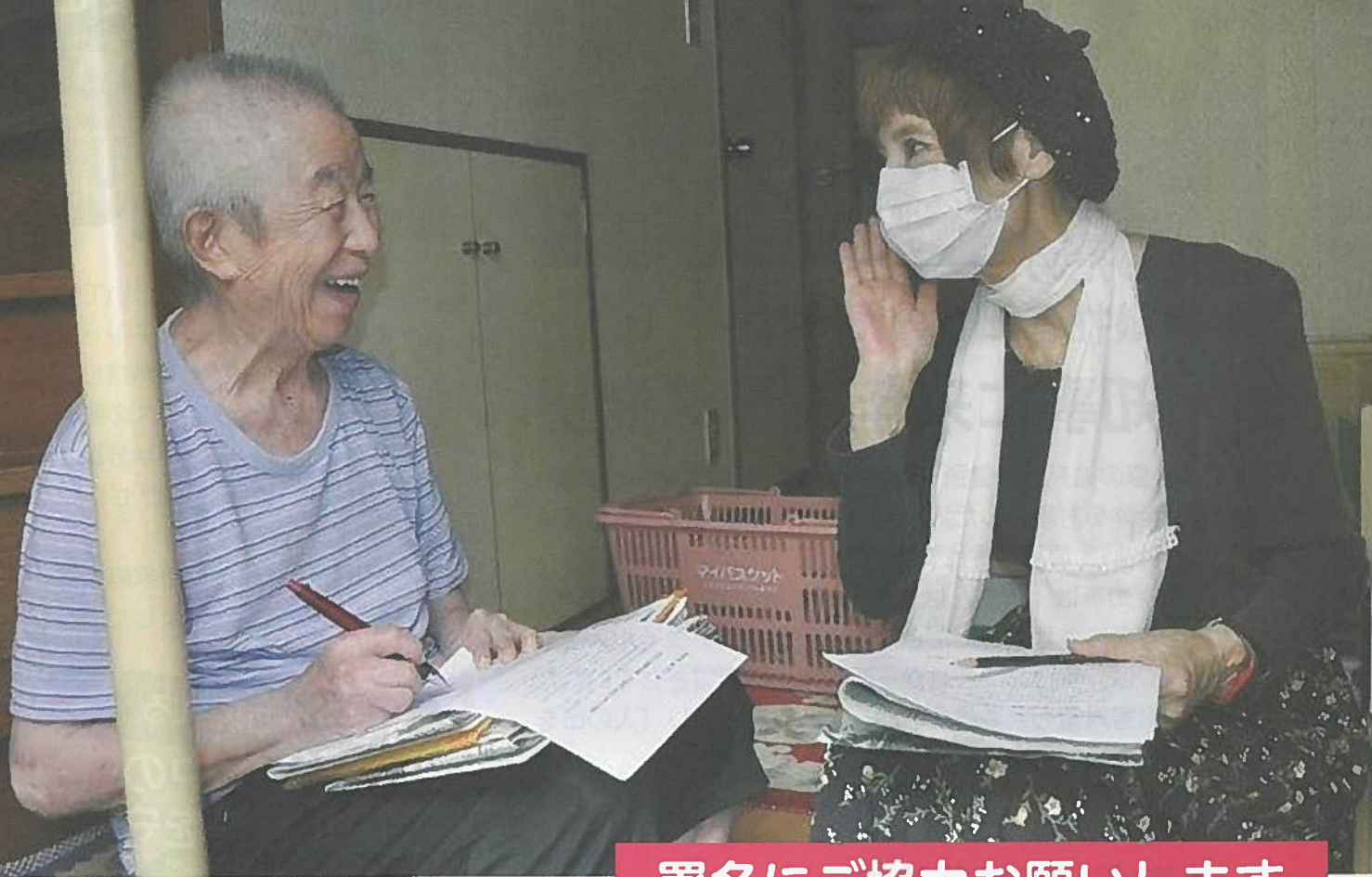
一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる 阿須山中の 自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コクランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。党県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れてきました。

なんとしても所沢保健所復活を



署名にご協力をお願いします

あの日を忘れない…

所沢保健所が廃止されたのが、2010年。私は絶対廃止は認められないと、繰り返し県議会で、所沢保健所の存続を求めました。しかし当時の上田知事は「人員削減ではなく、狭山1カ所に統合して、強化する」と言って、廃止してしまいました。当時、廃止に反対したのは日本共産党だけでした。

この9月定例会一般質問で、私は減らさないと欲していた保健所職員が約40人も減っていたことを追求しました。コロナ感染症蔓延期の4月、統合された狭山保健所が過重な負担の中頑張っていたことは、大野知事も認めました。そして、「保健師は必ず増員する」と知事は約束したのです。



国は人口20万人以上の自治体に対して保健所設置が望ましいとしています。私たちは、市に対して保健所設置を求め署名を集めています。また市が保健所を設置するまでは、県が責任をもって、保健所を復活すべきです。



所沢市民医療センターに医師派遣の支援を

市民医療センターは、休祝日・夜間の小児1次救急診療所として、救急医療を支えながら、PCR検査センターとして、コロナ対策に全力を挙げています。今、センターでは医師が5人も不足しています。私は一般質問で、医師確保の担当部局と、県立病院に医師派遣を要求しました。

柳下礼子の県政ニュースレター

今、野党の連合政権で菅政権交代を



医学部定員の増を 20人程度の少人数学級を

菅政権は、学会議の会員任命拒否など学問の自由への介入など危険な体質をあらわしつつ、「自助・共助・公助」と、自分で努力をと言わばかりです。コロナで苦しむ人たちにこれ以上頑張れというのでしょうか。

私は、9月定例会で一般質問を行い、PCR検査の思い切った拡大、全国でも最低の医師不足解消のため医学部定員の増、教室内で間隔をとるための少人数学級を求めましたが、どれ一つとっても、国の政策の転換なしには、実現しません。

今こそ、菅政権の交代を。野党の共闘で、連合政権を作りましょう!!

伊藤岳参議院議員(左)とともに

発行
2020年秋号

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

月残業215時間

保健師増員を、保健所体制強化を



10月1日柳下礼子県議が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策などを取り上げました。

特に、狭山保健所の保健師の4月の残業が215時間と過労死ラインを超えていると指摘。狭山保健所管内には、飯能、所沢、狭山保健所と3つの保健所があり、2005年度には95人の職員がいましたが、2つの保健所が廃止され職員は57人となっています。柳下県議は2つの保健所の復活を求めました。知事は「まず保健師の増員を行ったうえで体制強化を検討します」と答弁しました。



一般質問後、柳下県議の傍聴者にあいさつする知事

コロナ対策
補正予算

1300億円可決

9月定例会では、65歳以上の高齢者のインフルエンザワクチン接種費用自己負担分の補助やコロナ患者を受け入れる医療機関の空床補償の引き上げ（1日1床5万2000円→7万1000円）などの補正予算が全会一致で可決されました。



医師確保のための
埼玉総合医局を視察

コロナ専用医療機関の 設置決定

党県コロナ対策本部が4月から県に申し入れていたコロナ専用医療機関が実現しました。県補正予算で37億円余りが可決され、今後、医療機関の公募が始まります。

柳下県議は「整備費だけでなく、運営のための支援も」と一般質問で要請しました。

障害者・高齢者施設の 災害避難計画策定を急げ

先の九州豪雨では高齢者施設で痛ましい犠牲者が出ました。現在浸水想定区域に立地する県内要配慮者施設数は4207施設ですが、避難計画が策定されていない施設が56.4%にのぼり、早急な策定支援を求めました。



埼玉県中央防災基地の視察

医療・福祉施設の 社会的PCR検査を

感染防止と経済発展を両立するためにはPCR検査の徹底と医療整備が必要です。世田谷区では、10月から特別養護老人ホーム等介護事業所、保育所、幼稚園の施設職員を対象に検査を実施します。一般質問で、県としても医療福祉施設職員への検査を求めました。

◀県衛生研究所を視察。手前がPCR検査機



県内医療機関で働く看護師さんたちと懇談

知事給与・議員報酬削減議案を 自民否決

コロナ禍による失業者や給料減になった県民に寄り添い、政治家が給与削減しコロナ対策基金に繰り入れることは当然のことです。しかし、県議会自民党は、「寄付行為にみえる」など明確な理由も示さず、この案を否決しました。

汚染水NO!

福島第1原発事故による
汚染水を海に流さないよう
国に求める請願

● 賛成 × 反対

自民	公明	県民 会議	民主 フォーラム	共産	改革
×	×	×	●	●	●

ひとり親家庭の
子どもたちに
支援を



ひとり親家庭を支援について公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとはじめて懇談しました。新型コロナウイルスの影響で約5割の世帯の収入が半分以上減少し、約2割は収入がゼロになったとのこと。

一般質問で、ひとり親家庭の実態調査と支援をもとめました。

カモシカも現れる
阿須山中の
自然を守れ



入間市・飯能市・青梅市にまたがる加治丘陵の中の飯能市の市有地17ヘクタールにメガソーラー発電所とサッカー場を作る計画があります。計画の目的はサッカー選手育成ですが、サッカー場はメガソーラーのための調整池に作られています。絶滅危惧種コクランをはじめ希少植物が確認され、天然記念物のカモシカも目撃されているなど都市近郊の貴重な山林。県議団は、「加治丘陵の自然を考える会」の皆さんとともに、希少種保護などを県に申し入れてきました。